

彙報 平成三年十月〜十二月

大谷学会

◇平成三年度研究発表会

十月二十九日(火)午後一時

於 講堂棟多目的ホール

「内観の根拠」

於 講堂棟多目的ホール
本学講師 加来雄之氏

「唯識三性説」

本学講師 兵藤一夫氏

「日本泳法に関する研究(序説)」

本学講師 中森一郎氏

「坂口 安吾のエッセイ・評論」

本学助教 喜多川恒男氏

「元明革命と仏教」

本学教授 藤島建樹氏

終了後、第三会議室において発表者を囲んでの懇談会を催した。

真宗総合研究所

◇研究所委員会

十月二十三日(水)午後二時三十分

議題

於 会議室(研所内)

1 平成四年度「一般研究」募集について

2 平成四年度「開放セミナー」について

3 「研究所紀要」「研究所報」の編集について

4 その他

◇開放セミナー

◎小川一乗教授「大乘仏教の原点を問う―龍樹の『中論』―」

十月二日(水) 釈尊の仏教

十月十六日(水) 「縁起」と「空」

十月三十日(水) 輪廻の形成

十一月六日(水) 生死即涅槃

十二月四日(水) 無縁の慈悲

(於 尋源館三一〇三教室)

午後六時三十分より八時三十分)

◎名畑 崇教授「おしえの史的検証・浄土

真宗―出家と在家―」

十月五日(土) 世界の変換

十月二六日(土) 真理の地平

十一月二日(土) 装いの機構

十一月三十日(土) 歴史の弁証

十二月十四日(土) 世界の実現

(於 尋源館三一〇三教室 午後二時より四時)

◇大学史編纂研究

◎「大学史編纂研究」全体会議

十月三十一日(木) 午後十二時

於 二二研究室(研所内)

議題

1 今後の研究計画について

2 その他

◇国際仏教研究

◎「国際仏教研究」全体会議

十月二日(水) 午後十二時十分

於 会議室(研所内)

議題

1 パークレー国際真宗学会報告

2 その他

◎「国際仏教研究」全体会議

十一月六日(水) 午後十二時十分

於 会議室(研所内)

議題

1 AAR参加について

2 資料の収集ならびに整理に関する

報告

3 その他

◎「国際仏教研究」全体会議

十二月四日(水) 午後十二時三十分

於 会議室(研究所内)

議題

1 AAR参加の報告

2 その他

◎「国際仏教研究」研究会

十一月二十一日(木) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

内容

「今枝由郎博士との懇談会」

パリ国立アカデミー 今枝由郎氏

◎「国際仏教研究」研究会

十一月二十六日(火) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

内容

「ロシアにおける仏教」

龍谷大学招待研究員

ガブリエル・パウエル氏

◎学会参加

十一月二十三日(土) から十一月六日

(土)まで、研究員・宮下晴輝氏、研究

於 早稲田大学学術情報センター

国際会議場

員加来雄之氏の二名が、アメリカ合衆国

ミズーリ州キャンサスシティにおいて

開催された「アメリカ宗教学会」(1991

AAR Annual Meeting)に参加した。

◇大学開放研究

◎「大学開放研究」全体会議

十月二十三日(水) 午後四時

於 三八研究室(研究所内)

議題

1 生涯学習フェスティバル参加につ

いて

2 その他

◎「第三回生涯学習フェスティバル」

参加

十一月二日(土) 午後十時二十分

於 別府市中央公民館大ホール

内容

「第三回大学開放の在り方に関する研

究会」

参加者

研究員 片野道雄氏

研究補助員 大橋 洋氏

◎「日米大学生涯学習機関ディーンズサミ

ット」参加

十二月九日(月)・十日(火)

内容

「日米大学生涯学習機関ディーンズサミ

ット」

参加者

◇真宗史料研究

◎「真宗史料研究」史料調査

十月五日(土)～六日(日)

於 石川県松任市本誓寺

内容

「金沢市常福寺史料調査」

◇西藏文献研究

◎「西藏文献研究」全体会議

十月七日(月) 午後五時三十分

於 二四研究室(研究所内)

議題

1 出版について

2 その他

仏教学会

◇研究発表例会

十月十五日(火) 午後四時一〇分

於 多目的ホール

「アサンガの重習論とヴァスバンドゥの識転変論」

博士後期課程三回生 樋田道男氏
「華嚴の成仏論—法藏の所説を中心に—」

専任講師 一色順心氏

研究発表終了後、第一研究室分室一において発表者を囲んで懇談会を行なった。

◇修士論文中間発表会

十月二十四日(木) 午後四時一〇分

於 多目的ホール

修士論文提出予定者五名が発表を行なった。

◇史蹟踏査(バス旅行)

十一月二十八日(木)

秋深い湖東三山(百濟寺・西明寺・金剛輪寺)を訪ねた。教員・大学院生・学生総勢三十四名が参加した。

◇公開講演会十

二月五日(木) 午後四時十分

於 多目的ホール

「ジャンカラは本当に仮面の仏教徒か?」

東京大学名誉教授

武蔵野女子大学教授 前田専学氏

講演会終了後、瓢亭において懇親会がもたれ、多数の教員が出席して講師を中心とした活発な話し合いがなされた。

西洋哲学・倫理学会

◇西洋哲学・卒業論文中間発表会

十一月二十一日(木)

於 講堂棟談話室一・二

参加者 訓覇教授、須藤助教授、学生十四名

十一月二十九日(金)・十二月六日(金)

於 第二研究室分室一

参加者 箕浦教授、学生十名

◇倫理学・卒業論文中間発表会

十一月二十二日(金)・二十三日(土)

於 第二研究室分室一

参加者 鈴木教授、池上助教授、特別研修員、院生、学生約二十名

◇西洋哲学・倫理学会公開講演会が左記の通り開催されました。

十二月十日(火) 午後二時三十分

於 尋源講堂

「デカルト的自我と無意識」

大阪大学教授 山形頼洋氏

教員・院生・学生が多数参加し、活発に質疑応答が交されました。

社会学会

◇ワークショップ

十一月二十七日から二十八日にかけて、嵯峨野にて行なわれた。教員・特別研修員・学生多数が参加し、付近を散策した後、夜遅くまで硬軟さまざまな話題で盛り上がり、相互に親睦を深めた。

◇社会学会公開講演会

十二月十二日(木) 二時半

講師 奈倉道隆氏(龍谷大学教授)

テーマ 「医学と宗教と社会福祉」

於 多目的ホール

岩田、野村、松村教授、千葉、滝口助教授、高井講師、特別研修員他、学生多数参加。講演後、質疑応答が和気あいあいとした雰囲気の中で行われた。

◇教育学会ワークショップ

十一月二十七日(水)～十一月二十八日

教育学会

(木)

於 加太国民休暇村

教員も学生も互いに、日頃授業中には見られなかった一面を発見し、親睦を深めた。同時に、自由な雰囲気の中で話し合い、学ぶことができた。

参加者大竹教授、土戸助教授、大西、杉原、関口専任講師、学生二回生、四回生まで多数。

◇教育学会公開講演会

十二月十三日(金)午後四時十分

於 尋源講堂

「非行の現状とその理解」

大阪少年鑑別所所長 酒井汀氏
教員、院生、学生はじめ多数の参加者あり。講演後、活発な質疑応答があり、盛況のうちに閉会。(＊酒井氏は、平成四年度より本学教授に就任された。)

東洋仏教史学会

☆十一月五日(火)后二時三十分

於 第3研究室分室2

『修士論文中間発表会』

○岩崎雅彦

宋代度牒鬻売

○中野美佐子

平西王呉三桂考

☆十一月二十六日(火)后四時

於 第3研究室分室2

『卒業論文中間発表会』

○井口雅夫 中国中世における磨仏の諸問題

○中川政博 仏教典籍資料にみられる竜王の研究

○伊藤卓也 中国六朝におけるユートピアの考察

○井原加津 中国西域へのイスラム教の進出について

○国文学会

◇大学院研究発表会

十一月二日(土)午後二時

於 第四研究室分室一

国文学会

○岡本かの子『女体開頭』考

——主人公奈々子における母性の象徴——

○音象徴語の一音節語基の性格

修一 宗 晴美

◇史蹟踏査

十一月六日(水)

午前十時三十分、東福寺中門前に集合、東福寺管長のお話を伺った後見学。泉涌寺にて午後二時過ぎ開散。

◇大学院研究発表会

十二月二十四日(火)午後一時より

於 第四研究室分室一

『神峰山寺秘密縁起』の作者および成立時期に関する一考察——長寛二年忍惠撰を疑う——

——二音節語基との比較から——

博一 中慮容子

○なぜ「兩三遍」なのか

——『方丈記』結章をめぐる——

研修員 陳 靖国

◇史蹟踏査

十一月六日(水)

午前十時三十分、東福寺中門前に集合、東福寺管長のお話を伺った後見学。泉涌寺にて午後二時過ぎ開散。

◇大学院研究発表会

十二月二十四日(火)午後一時より

於 第四研究室分室一

『神峰山寺秘密縁起』の作者および成立時期に関する一考察——長寛二年忍惠撰を疑う——

博二 橋本章彦

為頭流和歌秘伝書における仏教思想享受の側面——古今伝授史私考——

博三 中川眞二

◇『文藝論叢』第三八号発行

『思ひ出』『断章』の抒情

仲野良一

『行人』『塵芳』章の問題——「偶然」

を引き寄せる方法——

入柿 徹

『とはすがたり』と『撰集抄』

土門政和

女主人公の不機嫌Ⅲ——『かげろふ日記』
の場合——

荒井とみよ

梶原紙・美濃紙

高橋正隆

〈資料紹介〉

田辺玄々『玄々打聞』・『玄々葺珍蔵録』

水田紀久

中国文学会

◇中国文学一夜研修

十一月二十二日(金)～二十三日(土)

於 桂ユースホステル

参加者平野・河内・若槻教授、吉井・佐藤講師、特別研修員、院生、学部生計四十数名。四回生の卒業論文中間発表を主として質疑応答がなされた。

英文学会

◇大谷大学英文学会

十二月四日(水)午後四時二十分

於 講堂棟多目的ホール

研究発表

トマス・ミドルトンの『フィニックス』について

伊藤淳子氏

講演

America 1991 ノーマン・ワデル氏

出席者 英文を中心とする教員と学生約五〇名

◇『英文学会会報』第十九号、三月に発行

目次

Jane Austen and the Tradition of Comic

Aggression: *Pride and Prejudice*

Ian Watt

The Phoenix 研究

Thomas Middleton と comical satire

伊藤淳子

西洋文学会

◇『西洋文学研究』第十二号

十二月二十五日発行

ゲーテの詩《自然と芸術》

——〈形成〉の意味するもの——

栗花落和彦

クフリーン像における仮面の変貌

——イェイツの意識されない構造——

内藤史朗

短期国文科

◇秋季史蹟見学ならびに補導懇談会

*一回生Cクラス。十月三十一日(木)

高尾、梅尾、楨尾方面。後小路専任講師。学生二十一名。

*一回生Dクラス。十月三十一日(木)

嵯峨野方面。片岡教授。学生二十八名。

*二回生ABC Dクラス。十一月七日(木)

国立民族学博物館。渡辺教授、石橋助教授、喜多川助教授、沙加戸助教授、荒井

専任講師。学生五十一名。

*一回生Aクラス。十一月二十一日(木)

金閣寺、竜安寺方面。荒井専任講師。学生二十六名。

*一回生Bクラス。十一月二十一日(木)

宇治方面。石橋助教授。学生二十七名。

*一回生Fクラス。十一月二十一日(木)

東大寺、興福寺方面。沙加戸助教授。学生二十一名。

*一回生Eクラス。十一月二十七日(水)

午後。竜安寺、仁和寺方面。喜多川助教

授。

午後。竜安寺、仁和寺方面。喜多川助教

授。

授。学生十名。

幼児教育科

◇仏教保育総合研修会

●平成三年十一月一日（金）午前八時半

〃二日（土）午後二時半（一泊）

●研修テーマ「子どもの目で見える」

●研修内容 大阪国際児童文学館見学。

・講演同館々長・中川正文氏

・講題「子どもの文化を考える」グ

ループに分れ、自然文化園、国立民族学博物館を見学。夜、水無瀬青年の家にて宿泊。二日目は、ウオークラリー及びグループ討論、全体会にて閉会。